

人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち

# iMAR!

広報  
**伊万里**



2025.5

## 令和7年度 予算特集号



第32回伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル  
(令和7年3月20日：国見台球技場)



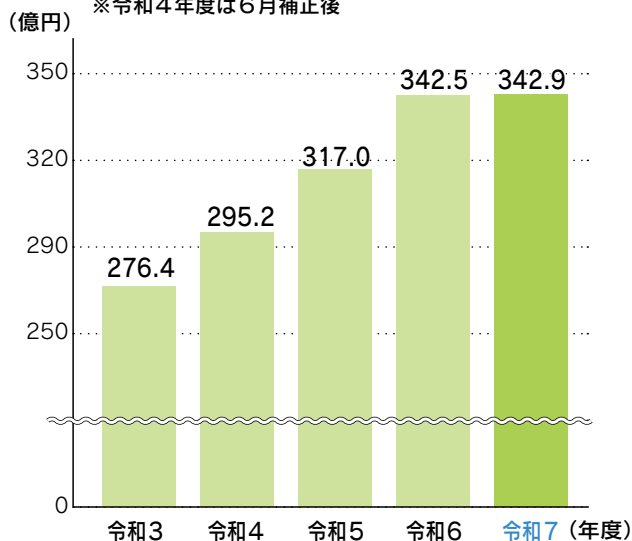
# 一般会計

令和7年度当初予算総額

# 342億8,500万円

## 一般会計予算額の年度別推移

※令和4年度は6月補正後



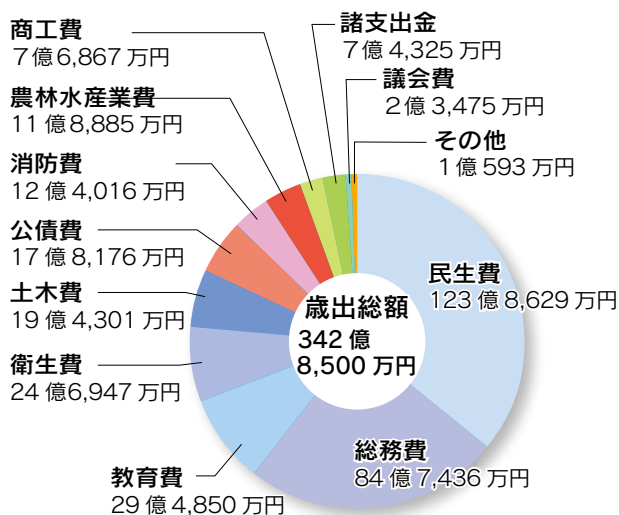
令和7年度の財政状況は、歳入では、給与所得の上昇や市内企業の設備投資などにより、自主財源の根幹をなす市税は大幅に増加すると見込んでいます。

歳出では、東山代複合施設の建築工事が完了したことなどによる大幅な減少が見込まれますが、人件費や扶助費などの義務的経費や、一部事務組合への負担金、市民センターの改修、保育園の民営化に伴う施設整備に要する経費などが大幅に増加します。

こうしたなか、財政の健全性に配慮しながらも、これまで積み立ててきた基金を活用しながら、伊万里市が掲げる『6つのまちづくり』の実現に向けた積極的な予算編成を行いました。

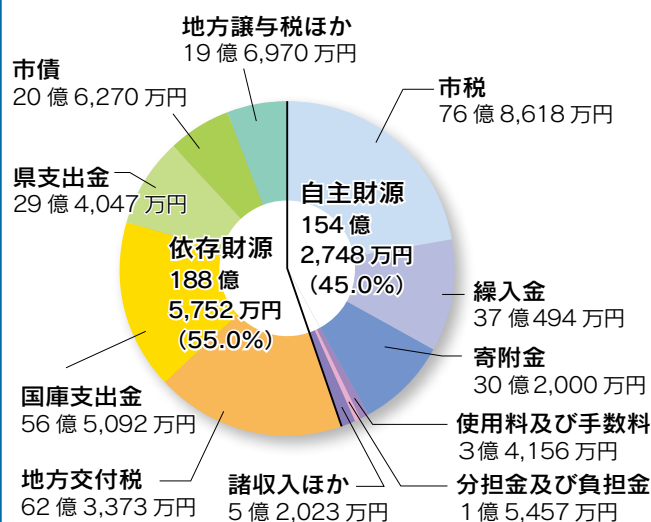
その結果、今年度の一般会計予算は、総額 342 億 8,500 万円で、令和6年度予算と比較し、0.1%の増加となっています。

## 歳出



- **民生費**………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**………企画や男女協働、まちづくりなど、主に総務部門に要する経費です。
- **教育費**………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **衛生費**………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **土木費**………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **公債費**………借入金の返済に要する経費です。
- **消防費**………火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**………農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**………商工業や観光の振興に要する経費です。
- **諸支出金**………企業会計への繰出金などです。
- **議会費**………議会運営に要する経費です。
- **その他**………労働費や災害復旧費などです。

## 歳入



- **市税**………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金**………基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金**………ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- **使用料及び手数料**………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- **分担金及び負担金**………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **諸収入ほか**………受託事業収入や雑入などです。
- **地方交付税**………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**………国からの負担金や補助金です。
- **県支出金**………県からの負担金や補助金です。
- **市債**………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税ほか**………地方譲与税や地方消費税交付金などです。

特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるため、特別会計を設けています。

令和7年度は、表1のとおり3つの特別会計を設けていて、その予算総額は、147億781万円となっています。

国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障がいがある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。



表1 特別会計予算額

| 特別会計名   | 予算額        |
|---------|------------|
| 国民健康保険  | 68億7,746万円 |
| 介護保険    | 60億2,979万円 |
| 後期高齢者医療 | 18億56万円    |
| 計       | 147億781万円  |

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の3つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

下水道事業特別会計

下水道を維持管理するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表3のとおりです。

表2 企業会計予算額

| 区分      | 収益的収支      | 資本的収支      |
|---------|------------|------------|
| 水道事業    | 収入         | 収入         |
|         | 15億648万円   | 7億5,417万円  |
|         | 支出         | 支出         |
|         | 15億648万円   | 20億940万円   |
| 工業用水道事業 | 収入         | 収入         |
|         | 10億6,009万円 | 12億2,563万円 |
|         | 支出         | 支出         |
|         | 10億6,009万円 | 22億2,297万円 |
| 下水道事業   | 収入         | 収入         |
|         | 13億4,258万円 | 12億7,596万円 |
|         | 支出         | 支出         |
|         | 13億4,258万円 | 16億5,205万円 |

表3 市債現在高

| 会計区分 |         | 現在高         |
|------|---------|-------------|
| 一般会計 |         | 231億3,223万円 |
| 会計区分 |         | 現在高         |
| 企業会計 | 水道事業    | 58億7,661万円  |
|      | 工業用水道事業 | 69億9,291万円  |
|      | 下水道事業   | 64億5,834万円  |
|      | 計       | 193億2,786万円 |

※令和7年3月補正後の額です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

# 令和7年第1回定例会 所信表明

ここに住み、ここで働きたいと心から感じる、  
魅力あふれる伊万里市づくりに取り組む

市議会第1回定例会（3月議会）で、深浦弘信  
市長が市政運営について所信表明を行いました。  
その一部を紹介します。

## 【市政運営の基本方針】

私は、観光客に加え、市外からの通勤者も含めた多くの交流人口を、より結びつきが強い関係人口へと深化させ、更には、定住人口へとつなげる、持続的な成長を目指します。

このため、本市に関心を抱く人たちをさらに惹きつける『魅力ある伊万里市づくり』に、本市が有する力を最大限にいかしていきます。

まず、何よりも強力に取り組むべき施策は、やはり『子育て応援』で、東山代小学校等複合施設の供用開始や東陵学園の開校のほか、学校トイレの改修や屋内遊び場の整備など、任期2期目の最後の1年を、これまで積み重ねてきた、子どもたちの学びと成長を支える取り組みが実を結ぶ、集大成の年とします。

さらに、高校生年代や結婚、出産を望む人への支援を拡充するなど、若者の未来を応援する新たな施策にも力を注いでいきます。

今年、鍋島藩窯伊万里開窯350周年という記念すべき年でもあります。近世陶磁の至宝と称された鍋島焼の伝統を守り、その価値を次世代にしっかりと受け継ぐ取り組みを加速させ、最大のターゲットである福岡都市圏への魅力発信を強化することで、本市への誘客を図り、賑わいの創出につなげます。

本市誕生から70年の歳月を経て、新たなステージを迎える本年、私は、次の10年、20年を見据え、更なる成長を遂げるための新たな魅力を生み出し、次代の伊万里市への礎を築く一年にしたいと決意を新たにしています。

魅力あるまちづくりとして、市民会館跡地の整備をはじめとする大型プロジェクトを推進するほか、地域が共助で支え合い、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりに取り組んでいきます。

健全な財政基盤を堅持することは、すべての施策の根幹です。そのうえで、次の世代へと力強くつなぐため、本市の活力ある将来像をしっかりと見据え、誰もが自信と誇りを持って、ここに住み、ここで働きたいと心から感じる、魅力あふれる伊万里市づくりに向け、全力を尽くす覚悟です。

## 【主な施策】

『いまりSTEP UPプロジェクト2025年版』では、5つの都市像の実現に向けた具体的な取り組みを進めます。

### 第1 『未来を託す 子育て応援都市』

子どもたちを施策の中心に据え『子育て・若者成長応援パッケージ3.0』は『支える』『感じる』『選ばれる』の3つの柱を組み合わせて展開していきます。

まず、子どもの成長と子育てを『支える』取り組みとして、順次拡充してきた子どもの医療費助成に高校生年代の通院費などを新たに追加し、すべての子どもの医療費を支援の対象とします。

中学3年生などの給食費の無償化や物価高騰の影響を受けた学校と保育施設の給食費への支援を継続するほか、令和4年に民営化したいまり保育園、牧島保育園と南波多保育園の新施設の整備を支援し、令和7年度中には、牧島保育園と南波多保育園の園舎が完成予定です。

働く子育て世代をサポートするため、病児保育を開始する事業者を支援するほか、人材派遣を活用して公立保育園の保育士を確保します。

婚活に関する会員登録料や結婚新生活へ向けた引越費用などの支援を開始するほか、不妊治療に加え、県内で初めて不妊検査への助成を行います。

次に、若者が伊万里で子育てしたいと『感じる』取り組みとして、市外への進学により一部で定員割れが続く市内高等学校の魅力を高めるため、企業をはじめとする地域全体との連携による新たな学習機会を提供します。

小学生がものづくりのまち伊万里の魅力を体感できる市内企業の工場見学を実施するほか、中学生にロボットやドローンの操作を通じてプログラミングへの関心を高める学習機会を提供します。さらに、英語学習に伸びしろがある中学生の検定受験を後押しします。



↑南波多郷学館で開かれたロボットプログラミング出前授業での1コマ

次に、子育ての場に『選ばれる』取り組みとして、(株)名村造船所の寄附を活用し、就学前子ども向けの屋内遊び場を市民センター内に整備します。また、伊万里小学校をはじめとするトイレの洋式化に取り組むほか、開校する東陵学園へのスクールバスの運行や通学路である市道提川・川西線を整備します。

東山代小学校等複合施設は、県内初となるコミュニティセンターと一体となった施設で、新たなコミュニティの拠



点として生まれ変わります。  
さらに、市民会館跡地への複合施設の整備をはじめ、国見台公園の総合整備に向けた準備を進めます。

## 第2『未来を先取るデジタル都市』

コミュニティセンターや体育施設などの予約システムを本格的に運用開始するほか、コミュニティセンターなどでeスポーツ体験会を開催します。

子育てなどに悩みを抱える人が、気軽に相談できるよう、本市公式LINEを活用した相談体制を整備するほか、地図情報サービスサイト『いまりんマップ』の道路情報を拡充します。また、市内進出のIT企業と連携し、AIやプログラミング、デジタルアートなどに関する講座を開催します。

## 第3『競争に打ち勝つ産業都市』

伊万里牛の出荷頭数の維持と子牛の安定供給を図るため、出荷頭数や成績に応じて奨励金を加算するほか、伊万里梨の栽培農家や面積の減少に歯止めをかけるため、果樹の改植や機械導入などを支援します。また、イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害

の軽減に向けた捕獲報償金の増額をはじめ、農地の大区画化により経営の安定化を図る瀬戸地区の農地の再整備を促進するほか、就農希望者の研修を受け入れるトレーナーを支援します。

今年、大川内山は佐賀藩の藩窯として開かれ350年を迎えます。鍋島焼の伝統を次の400周年へとつなぐため、トータルディレクターの招へいや情報発信などを支援するほか、伊万里・有田焼伝統産業会館の大規模改修を行います。

本市は、焼き物のまちとしての高い知名度から、食品を除く産品想起率で全国7位の位置にあります。このポテンシャルをさらにいかす必要があり、伊万里ブランドの魅力を伝える福岡ジャックなどの食を中心としたイベントを開催するほか、リニールオープンした道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』との連携などを行います。



↑オープン初日、多くの買い物客でにぎわった『伊万里ふるさと村』

グリーンツーリズムを推進するため農家民宿の実践者を確保し、また、パブリックスペースを有する民間ホテル建筑设计画に併せて駅前ロータリーを改修するほか、市民会館跡地の複合施設や店舗集積が続く松島エリアなど、市街地の点を線としてつなげ、観光客だけでなく、市民にとっても魅力を感じるまちへと生まれ変わるよう取り組んでいきます。

## 第4『世界に向けた港湾都市』

ポートセールズやコンテンツ助成などを行う佐賀県伊万里港振興会と強ちに連携し、コンテンツ貨物の取扱量の増加と新規航路の開設を目指します。浦ノ崎地区の早期開発や官民一体で設立した協議会、ウインドパワープロジェクトによる洋上風力発電関連産業の誘致に向けた研究やフェリー・RO-RO船舶航路の活用について国や佐賀県と連携して検討を進めながら、伊万里港の将来を見据えた港湾計画の改訂を促進します。

伊万里ファミリーパークやイマリンビーチ、福田マリナーの一体的な活用を図るため、佐賀県と連携して、民間

活力を取り入れた施設整備の可能性調査を実施します。



↑伊万里港七ツ島地区

## 第5『SDGs推進都市』

昼間の人口が夜間より多く、市外から1万人近くが通勤する本市の特徴をいかすため、引き続き、各種移住支援金の周知をはじめ、市外在住者が本市の実家へ移住する際の住宅改修などを支援するほか、移住体験ツアーの開催やオンライン移住相談窓口の開設、ニーズに合わせた就職支援などを行います。

高等教育機関が限られた本市において、大学生などを中心に賑わいを生み出し関係人口を創出するため、市内でのフィールドワークを支援するほか、地元企業と連携した特産品の開発を促進するなど、若者の視点によ

る地域活性化を図ります。  
防災体制を強化するため、伊万里・有田消防組合の通信指令センターの県内共同化に向けた取り組みを支援するほか、消防団員の装備品の拡充により活動環境を整備します。

市民図書館は、7月に開館30周年を迎えます。年間を通じた記念事業を開催するほか、環境学習の拠点となるカーボン・ニュートラル・ライブラリーとして、新たな学びの場を創出します。

脱炭素社会の実現に向け、二酸化炭素の排出の実質ゼロを目指す『ゼロカーボンシティ宣言』を行い、省エネルギーの推進として家庭用LED照明の買替を促進します。

買い物や通院支援など、共助で支えるまちづくりを積極的

に支援するため、まずは松浦町と山代町をモデル地区として、他地区への展開を図ります。

私は、伊万里市版SDGsを推進し、市民一人ひとりが輝き、住み続けたい、そして訪れたいまちとして、将来世代に引き継いでいくことができる持続可能な伊万里市づくりに向け、市民の皆さんとともに、更なる力を注いでいきます。

# 1 安心して健やかな暮らしづくり

## まちづくりの目標

行政と地域が一体となり、本市で活動するすべての人が自分らしくいきいきと輝くことができるよう『安心して健やかな暮らしづくり』を進めます。

▼市民一人一人が心身ともに健康的な生活を送ることができるよう、各種保健事業の充実を図るとともに、地域や医療機関と一体となった健康づくり活動や介護予防サービスの提供を推進します。

▼高齢者や障がいのある人など支援が必要な人が自分らしく生活できるような相談・支援体制の構築を進め、適切な介護サービスや障がい福祉サービスを提供するとともに、施設の整備やサービスの提供により、子どもを健やかに育てる体制を整えます。さまざまな福祉活動については、地域や関係機関との連携により社会全体で取り組むとともに、担い手の育成に努めます。

### ●子どもの屋内遊び場管理運営事業(新)

1051万円

子どもの成長に応じた遊び場を提供し、子どもの心身の発達を促すとともに、安心して子育てをすることができる環境を提供するため、市民センターのトレーニングルームに屋内遊び場を開設し、運営します。

財源 繰入金1000万円

市51万円

#### ▼子育て支援課



### ●障がい者(児)介護・訓練等給付事業

16億1586万円

障害者総合支援法に基づき、障がい者の自立や社会参加を促進するため、障がい者やその保護者に対して、介護給付費などを給付します。

財源 国8億695万円

県4億347万円

市4億544万円

#### ▼福祉課

### ●障がい児通所給付事業

4億1687万円

児童福祉法に基づき、障がい児などの療育を支援するため、障がい児などの保護者に対して、障がい児通所給付費などを給付します。

財源 国2億796万円

県1億398万円

市1億493万円

#### ▼福祉課



### ●子どもの医療費助成事業

2億6593万円

子育て世帯の経済的負担のさらなる軽減を図るため、4月から高校生年代の通院と調剤を助成対象として拡大します。

財源 県4276万円

繰入金1億7310万円

諸収入4万円

市5003万円

#### ▼子育て支援課



### ●保育対策総合支援事業

5760万円

保育士の業務の負担軽減や保育環境の向上を図るため、私立保育所などに対して、保育補助者の雇用、保育支援者の雇用、設備の更新などに要する経費を補助します。

財源 国9万円

県4741万円

市1010万円

#### ▼子育て支援課



### ●病児保育事業(病児保育事業費補助金)【新】

821万円

子どもが病気の際に、保護者が就労などにより自宅での保育が困難となった場合の子育て環境の充実を図るため、病児保育を実施する事業者に対し、事業に要する経費を補助します。

財源 国274万円

市273万円

#### ▼子育て支援課



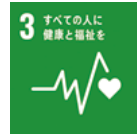
●子ども第三の居場所きらら管理運営事業

1440万円

生活や学習などの環境に課題を抱える子どもに対し、家でも学校でもない安心して過ごせる居場所を提供します。運営全般については、指定管理者に委託します。

財源 諸収入1440万円

▼こども家庭センター



●私立保育園等支援事業（保育所等運営費負担金）

25億7672万円

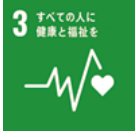
子ども・子育て支援法に基づき、市内の児童が私立保育所等に入所する場合、その児童に係る保育給付費などを負担します。

財源 国13億1423万円

県5億5489万円

市7億760万円

▼子育て支援課



●児童手当支給事業

13億1015万円

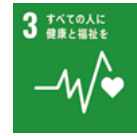
次代の社会を担う児童の健やかな成長を支援するため、高校生年代までの児童を対象に児童手当を支給します。

財源 国10億5867万円

県1億2417万円

市1億2731万円

▼子育て支援課



●生活保護費支給事業

9億6876万円

生活困窮者に対して、最低限度の生活を保障し、自立を助長するために生活保護費を支給します。

財源 国7億2657万円

県1865万円

市2億2354万円

▼福祉課



●不妊治療等エンゼルサポート事業

175万円

出産を希望する夫婦に対し、不妊検査や治療に係る経費を補助します。

財源 市175万円

▼こども家庭センター



●出産・子育て応援事業 3810万円

妊娠から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した必要な支援につながる妊婦等包括相談支援の充実を図ることで、妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備します。また、併せて経済的支援として妊婦支援給付金を支給します。

財源 国3605万円

県102万円 市103万円

▼こども家庭センター



●伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金

2億4724万円

病院事業を行う伊万里・有田地区医療福祉組合に対して、その運営に要する経費を負担します。

財源 市2億4724万円

▼市民課



●予防接種事業

1億9055万円

感染症の発生を予防するため、小児などへの各種予防接種、高齢者のインフルエンザ予防接種などを実施します。

財源 国6万円 県22万円

市1億9027万円

▼健康づくり課・こども家庭センター





# 2 創造的で心豊かなひとづくり

## まちづくりの目標

市民一人一人が、みずからが住む郷土への誇りや愛着を持ち、個性や能力を伸ばし生かすことができるよう『創造的で心豊かなひとづくり』を進めます。

子どもたちが意欲的に学び、社会で求められる能力を身に付け、心身ともに健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

市民一人一人が生涯を通じて学び、自己実現を果たすことで、充実した人生を送ることができるよう、効果的な生涯学習に関する取り組みを進めます。

郷土の歴史や文化の保存と継承に努めるとともに、地域固有の資源の活用をはじめ、国際的な交流のほか、文化・芸術活動、スポーツの振興を図ることで、市民が文化やスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

さまざまな人権問題の解決のため啓発を推進し、お互いの人権を尊重し合う共生社会の実現を図ります。

### ●学力向上対策事業【新】

525万円

中学生の英語学力向上のため、生徒が受験する英語検定の受験料を、3級から5級を全額、準2級以上を半額補助します。

財源 繰入金520万円

市5万円

#### ▼学校教育課



### ●デジタル・シティズンシップ教育推進事業

248万円

主体的に考えICTを活用する能力を育成する『デジタル・シティズンシップ教育』を推進するために、中学校と義務教育学校に市内IT企業から講師を招き、プログラミングやAIなどのデジタル技術を活用するワークショップなどを開催します。

財源 繰入金240万円 市8万円

#### ▼学校教育課



### ●小学校施設環境改善事業

1億9989万円

学校施設の教育環境を改善するため、老朽化した伊万里小学校トイレの洋式化などの改修と下水道への接続工事を行います。

財源 国2346万円

繰入金4420万円

市債1億3220万円

市3万円

#### ▼教育総務課



### ●小・中学校遠距離児童生徒通学支援事業

1億3449万円

学校統合により遠距離通学となった児童生徒に公共交通機関利用に要する経費を補助するとともに、公共交通機関がない地域においてスクールバスなどを運行します。

財源 県531万円

繰入金1億2780万円

市138万円

#### ▼学校教育課



### ●教科書購入事業

3221万円

令和7年度に行われる中学校の教科書の全面改訂などに伴い、教師用教科書や指導書を購入するとともに、児童生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料・情報を素早く提供することで学力向上を図るため、デジタル教科書を購入します。

財源 繰入金3200万円

市21万円

#### ▼学校教育課



### ●市内高等学校支援事業【新】

204万円

市外への進学により定員割れが続く市内高等学校の魅力が高めるため、企業をはじめとした地域全体が連携し、高校生に新たな学習機会を提供します。また、本市の次世代のまちづくりを担う高校生のフィードバックなどを支援し、まちづくりの当事者としての意識醸成を図ります。

財源 繰入金200万円 市4万円

#### ▼企画政策課





●ブックスタート事業（図書館伊万里塾〔新〕・図書館開館30周年記念事業〔新〕）

80万円

令和7年7月に市民図書館が開館30周年を迎えること、また、ブックスタート事業が開始から20年を迎えたことを記念し、公開講座を6回開催します。

財源 繰入金74万円

市6万円



▼市民図書館



●図書館改修事業（カーボン・ニュートラル・ライブラリー）

253万円

カーボンニュートラルを推進する拠点施設として市民図書館を整備するため、実施設計を行います。

財源 繰入金250万円

市3万円

▼市民図書館



●文化芸術大会出場支援事業〔新〕

7万円

高校生までの児童生徒の文化芸術活動において、全国大会などに出場するための交通費や宿泊費を補助します。

財源 市7万円



▼生涯学習課



●前田家住宅庭園調査事業〔新〕

46万円

主屋などが国の有形文化財に登録されている前田家住宅について、庭園の保護の必要性を検討するため、調査を行います。

財源 市46万円

▼生涯学習課



●スポーツ合宿誘致事業 170万円

市民と市外の高校生などとの合同練習などによる競技力の向上を図るとともに、経済的効果の増大や市街の活性化に寄与するため、スポーツ合宿に要する経費を補助します。

財源 繰入金170万円

▼スポーツ課



●学校給食運営委員会支援事業（学校給食費高騰対策補助金）

5358万円

物価高騰により、令和5年度、令和6年度と2年続けて学校給食費が改定され、子育て家庭の負担が増加していることから、急激な負担増を軽減するため、給食費の値上げ分の2分の1を補助します。また、進学などに向け特に経済的負担が大きい中学校3年生と義務教育学校9年生の給食費を全額補助します。

財源 臨時交付金1811万円

繰入金3375万円

▼学校教育課



●東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業

4億6083万円

老朽化した東山代小学校や東山代児童クラブ、東山代コミュニティセンターの3施設の複合施設の建設工事を行います。今年度は、旧施設の解体と屋外環境の整備を行います。

財源 国2000万円

繰入金4463万円

市債3億9620万円

▼地域づくり課・教育総務課



●国見台体育施設改修事業

8500万円

老朽化が著しい国見台陸上競技場の擁壁ブロックについて、長寿命化のための改修工事を行います。

財源 国4250万円

繰入金430万円

市債3820万円

▼スポーツ課



# 3 活気あふれる産業づくり

## まちづくりの目標

地域経済の活性化により生活の豊かさや都市の活力を高めることができるよう、本市の資源や特性をいかした『活気あふれる産業づくり』を進めます。

▼第1次産業において、価格の低迷や担い手不足という共通した課題がある中、効率的で安定的な経営の確立を図るとともに、さまざまな機会を積極的に活用し、ブランド力の向上に努めます。

▼地場商工業の経営基盤の強化や伊万里焼の伝統技術の継承に努めるとともに、中心市街地におけるにぎわいの創出を図るほか、新たな雇用機会の創出に努めます。

▼伊万里市観光協会などと連携し、外国人を含めた観光客の受入体制の整備や観光情報の効果的な発信などにより、観光地としての魅力の向上を図ります。

▼本市の発展の歩みとともにある伊万里港については、貿易の拡大と施設の整備促進により国際物流拠点としての地位向上を図ります。

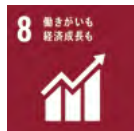
### ●U・I・Jターン就職促進事業

21万円

市内民間企業への就職を検討している県外在住者やその世帯員に対し、週末を利用した企業訪問や移住に伴う生活環境の確認のため、市内宿泊施設を利用する場合に、宿泊費の一部を補助します。

財源 市21万円

### ▼企業誘致・商工振興課



### ●伊万里牛出荷奨励事業

3194万円

伊万里牛ブランドとしての出荷数量の維持と、伊万里産子牛の安定供給を図るため、出荷した頭数や成績に応じて奨励金を交付します。

財源 繰入金3190万円

市4万円

### ▼農業振興課



### ●漁業者緊急支援事業【新】

75万円

原油価格の高止まりにより、漁業経営に影響を受けている漁業者の負担軽減を図るため、佐賀玄海漁業協同組合波多津支所が行う漁業者支援に要する経費を補助します。

財源 臨時交付金68万円 市7万円

### ▼農山漁村整備課



### ●観光PR事業

1250万円

福岡都市圏などからの更なる誘客を図るため、旅行会社などへの営業活動を行うほか、SNSの活用など時代の潮流に合った方法で福岡都市圏を拠点とした切れ目のない情報発信を行います。

財源 繰入金1240万円 市10万円

### ▼シティプロモーション推進課



### ●第4次プレミアム付商品券発行事業【新】

8666万円

食料品価格などの物価高騰の中、市民の消費生活を下支えし地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行します。

財源 臨時交付金7666万円 市1000万円

### ▼企業誘致・商工振興課



### ●伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興事業（地域おこし協力隊運営業務委託料【新】、伊万里鍋島焼伝統産業振興事業費補助金）

2250万円

鍋島藩窯伊万里開窯350周年を契機とした更なる窯業振興や観光地としての魅力向上を図るため、企業等委託型地域おこし協力隊制度を活用して産地を支援するとともに、伊万里鍋島焼協同組合による産地ブランドを確立するためのプロモーション活動や350周年記念事業の開催に要する経費を補助します。

財源 繰入金2250万円

### ▼企業誘致・商工振興課





●第4次施設園芸等燃料高騰対策支援事業【新】

1146万円

原油価格の高止まりや物価の高騰により、農業経営に影響を受けている施設園芸農家の経営回復を図るため、燃料の購入にかかる経費を支援します。

財源 臨時交付金1047万円  
市99万円

▼農業振興課



●第2次畜産農家配合飼料価格高騰対策支援事業【新】

271万円

配合飼料価格の高止まりにより、農業経営に影響を受けている畜産農家の営農継続を図るため、配合飼料価格高騰分の一部を支援します。

財源 臨時交付金2475万円  
市236万円

▼農業振興課



●農地・水保全管理支援事業

1億4911万円

農地、農業用施設などの資源や農村環境が将来にわたって良好な状態で保全され、その質的な向上が図られるよう、実施組織の事業に要する経費を補助します。

財源 県1億1201万円

市3710万円 ▼農山漁村整備課



●まちなか賑わい創出事業

1508万円

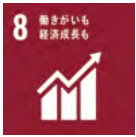
中心市街地の活性化に向けて、企業等委託型地域おこし協力隊制度を活用し、まちなか機能の検証を行い、IT企業の誘致や商業ビジネスの創業などに繋がる取組策の検討を行うとともに、地域商業の活性化を図るため、空き店舗に新規出店する際の改修などに要する経費を補助します。

財源 県300万円

繰入金1200万円

市8万円

▼企業誘致・商工振興課



●有害鳥獣対策事業（有害鳥獣対策事業費補助金）

1833万円

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、農業経営の安定を図るため、有害鳥獣の駆除や被害防止対策に要する経費を補助します。

財源 市1833万円

▼農業振興課



●伊万里・有田焼伝統産業会館管理運営事業（伊万里・有田焼伝統産業会館改修等）

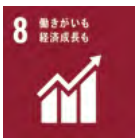
5653万円

大川内山の玄関口である伊万里・有田焼伝統産業会館において、鍋島焼の歴史・価値などの情報を発信する機能を強化し、市内外に向けて本市の伝統産業の振興を図るため、総合展示室を改修するとともに、来館者の利便性向上を図るため、施設内のWi-Fi環境整備やトイレの改修を行います。

財源 繰入金491万円

市債4400万円 市762万円

▼企業誘致・商工振興課



●グリーン・ツーリズム推進事業【新】

292万円

グリーン・ツーリズムによる滞在型観光を強化し、観光消費額や交流人口の増加を図るため、農家民宿の新規開業に要する経費などを補助します。

財源 繰入金290万円 市2万円

▼シティプロモーション推進課



●伊万里港ポートセールズ推進事業（伊万里港コンテナ貨物助成事業負担金）

2146万円

伊万里港のコンテナ貨物取扱量の増大を図るため、コンテナ貨物の輸出入に要する費用の助成などを行う佐賀県伊万里港振興会に対し、その経費を負担します。

財源 繰入金2140万円  
市6万円

▼伊万里湾総合開発課



# 4 生活の基盤づくり

市民の日常の暮らしを守り維持していくことができるよう、必要なインフラ整備に努め適正に維持管理することにより『生活の基盤づくり』を進めます。

▼西九州自動車道の延伸や幹線道路の整備により安全かつ迅速な交通ネットワークの構築を図るとともに、利便性が高く、持続可能な公共交通網の構築を推進します。

▼老朽化が進む道路や上下水道などのインフラ資産や、公共建築物の効率的な維持管理を図るとともに、高齢者や障がいのある人など、すべての人が安心して生活することのできる環境の整備に努めます。

▼用途地域に基づく開発の促進や都市計画施設の整備の推進により、秩序ある都市空間の形成を図ります。

▼市民の憩いの場として快適で安全に利用できる公園施設の計画的な更新や維持管理に取り組みます。

▼低家賃で良質な市営住宅の供給に努めるとともに、住環境における多様なニーズに対応するための相談体制の整備を図るほか、増加が見込まれる空き家などについては、状況に応じて所有者に適正な管理を指導するなど、安全の確保に努めます。

## ●バス交通支援事業

8936万円  
不採算バス路線の維持や地域が行うバスの運行に要する経費を補助します。

財源 繰入金8930万円  
市6万円

## ▼暮らしづくり課



## ●道路管理事業（単独）

2億3923万円  
老朽化した道路照明灯を修繕するほか、市内全域に係る市道の維持補修などを行います。

財源 県1913万円  
市債1億160万円  
市1億1850万円

## ▼道路河川課



## ●道路・橋りよう総務事業（公開用道路台帳図データ作成業務委託料）

443万円  
【新】道路台帳図について、閲覧者の利便性の向上を図るため、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、道路台帳図をデータ化し、いまりんマップに公開します。

財源 国221万円 市222万円

## ▼道路河川課



## ●空家等管理促進事業（補助）

789万円  
専門家による空き家相談会の開催や、倒壊の恐れのある特定空家等の解体に要する経費を補助するとともに、空き家情報バンク制度の充実に向け、物件見学時に助言などを行う建築士の派遣、空き家の家財処分などに要する経費を補助します。また、相続放棄などにより所有者不在の特定空家等の解体設計を行います。

財源 国394万円 市395万円

## ▼都市政策課



## ●市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金）

1億428万円  
市営住宅の長寿命化を図るため、伊万里市公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化している市営住宅を改修します。

財源 国4490万円  
市債5270万円 諸収入42万円  
市626万円

## ▼施設営繕課



## ●交通安全施設整備事業（単独）

2395万円  
通学路などの市道で、交通事故の減少と歩行者などの安全を確保するため、交通安全施設（防護柵や区画線、反射鏡など）を設置します。

財源 市2395万円

## ▼道路河川課





# 5 住みよい環境づくり

地域の歴史や豊かな自然環境を次代につなぎ、安全・安心に暮らすことができるよう、自然環境や災害などに配慮し対応した『住みよい環境づくり』を進めます。

- ▼ 市民や事業者と、行政が連携することにより、ごみの減量化・資源化に取り組むなど、地域の生活環境はもとより地球環境への配慮に努めるとともに、再生可能エネルギーの普及・啓発を図るなど、循環型社会の構築に努めます。
- ▼ 自然災害の教訓を踏まえ、将来にわたって安全・安心に暮らし続けるために防災体制を整備するとともに、市民の危機管理意識の醸成を図ります。
- ▼ 市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、犯罪やトラブルから市民を守る取り組みを進めるなど、安全なまちづくりを目指します。

## ● 防犯灯設置促進事業

424万円

各行政区が行う防犯灯の設置に要する経費を補助します。また、近年の物価高騰により、防犯灯の設置費用が高騰しているため、補助限度額を増額します。

財源 臨時交付金387万円

市37万円

▼ 防災危機管理課



## ● ゼロカーボン推進事業【新】

2073万円

脱炭素社会の実現に向け、省エネの取り組みを推進するため、家庭用LED照明への買替えや事業所の省エネ診断の費用などを補助します。

財源 臨時交付金1826万円

市247万円

▼ 環境政策課



## ● 家庭系生ごみ減量化促進事業【新】

90万円

家庭からの生ごみ排出量を減らし、一般廃棄物の削減を図るため、生ごみ処理機などの購入費用を補助します。

財源 市90万円

▼ 環境政策課



## ● 雨水ポンプ場更新事業

1億1433万円

市街地の浸水対策を維持するため、令和5年度から7年度にかけて、雨水ポンプ場（松島町）の排水ポンプ2台などを更新します。

財源

国5315万円

市債5680万円

市438万円

▼ 下水道施設課



## ● 伊万里・有田消防組合運営負担金

9億8364万円

消防事業を行う伊万里・有田消防組合の運営に要する経費を負担します。また、令和10年度から県内5消防本部（局）による通信指令センターの共同運用化に向けて必要となる経費を負担します。

財源

繰入金1億1340万円

市8億7024万円

▼ 消防調整課



## ● 消防団運営事業（消防団員用活動服の更新等）

1292万円

消防団員の活動環境の充実を図るため、平成30年度以前に配備した活動服を夜間活動時の視認性などにより優れた現行の活動服に更新します。

財源 県163万円

市1129万円

▼ 消防調整課



# 6 自立と協働のまちづくり

## まちづくりの目標

直面する行政課題に柔軟に対応していくため、効率的で自立した自治体経営に努めながら、まちづくりへの市民の主体的な参画による『自立と協働のまちづくり』を進めます。

▼ まちづくり団体や地域のまちづくり活動を支援し、市民活動の新たな担い手づくりに努めるなど、市民みずからが地域の課題を解決する取り組みへの支援に努めます。

▼ 性別や年齢などに関わらず、すべての人がその人らしく個性と能力を十分に発揮することができ、社会の実現を図ります。

▼ 市税や使用料などの自主財源の適正な確保を図るとともに、直面する行政課題に対し、限られた行政資源の有効な活用を図るほか、他自治体との連携や民間活力の導入を図るなど、効率的で効果的な行財政運営に努めます。

▼ 本市ならではの魅力の向上や再発見を進めながら、その魅力を戦略的に市外に発信するシティプロモーションを推進し、移住・定住の促進を図ります。

### ● DX推進事業（オンライン相談システム導入等）【新】

888万円  
新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、来庁者の滞在時間の更なる短縮を図るためにスマート窓口支援システムの改修を行うとともに、スマートフォンなどを活用した児童相談や妊産婦・育児相談が可能なオンライン相談システムを導入します。  
財源 国444万円 市444万円

#### ▼ 情報政策課



### ● 地域経営支援事業【新】

272万円  
地域力向上を図るため、暮らしの中の困りごと解決をはじめとする、住み慣れた地域で安心して住み続けるための、地域の実情に合わせた住民主体の取り組みを支援します。  
財源 繰入金270万円 市2万円

#### ▼ 地域づくり課



### ● 婚活推進事業

448万円  
結婚を希望している独身男女に対して出会いの場の提供や、相談などによる結婚活動を支援するとともに、結婚を機に市内に居住する夫婦に対し、一定の条件のもと新生活に必要な経費の一部を補助します。  
財源 県200万円 繰入金240万円 市8万円

#### ▼ 企画政策課



### ● ファシリティマネジメント推進事業（伊万里ファミリパーク等官民連携導入可能性調査）【新】

2391万円  
福田地区に位置する伊万里ファミリパークや佐賀県施設のイマリンビーチ、福田マリーナの更なる活用を目指し、佐賀県と連携し利活用に向けた施設整備などの可能性について調査を行います。  
財源 国598万円 県1195万円 繰入金590万円 市8万円

#### ▼ プロジェクト推進課



### ● ふるさと応援寄附募集事業

14億6160万円  
ふるさと納税の増加を図るとともに、本市のPRや産業振興を行います。  
財源 繰入金14億6160万円

#### ▼ 財政課



### ● 市税等徴収事業（セミセルフPOSレジ等導入）【新】

266万円  
新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し、窓口での市税や保険料などの公金収納支払い時において、待ち時間の短縮や納付方法の拡充による市民の利便性向上を図るため、キャッシュレス決済が可能な公金収納対応のセミセルフPOSレジを導入します。また、公金収納の電子納付を普及促進するため、タブレット端末を配備します。  
財源 国133万円 市133万円

#### ▼ 収納管理課





## SDGs（持続可能な開発目標）17の目標

SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

貧困、衛生、教育、経済成長や働きがい、格差、気候変動など、21世紀の世界が抱える課題が包括的に挙げられており、17の目標（ゴール）と169のターゲットから構成され、地球上の『誰一人取り残さない』ことを誓っています。



【出所：国際連合広報センター】

|  |                                                                                    |                                                 |                                                                                             |
|--|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>1 貧困</b><br>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる                                              |                                                 | <b>10 不平等</b><br>各国内および各国間の不平等を是正する                                                         |
|  | <b>2 飢餓</b><br>飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する                              |                                                 | <b>11 持続可能な都市</b><br>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する                                 |
|  | <b>3 保健</b><br>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する                                    |                                                 | <b>12 持続可能な消費と生産</b><br>持続可能な生産消費形態を確保する                                                    |
|  | <b>4 教育</b><br>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する                                |                                                 | <b>13 気候変動</b><br>気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる                                               |
|  | <b>5 ジェンダー</b><br>ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う                                  |                                                 | <b>14 海洋資源</b><br>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する                                        |
|  | <b>6 水・衛生</b><br>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する                                    |                                                 | <b>15 陸上資源</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する     |
|  | <b>7 エネルギー</b> すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する                          |                                                 | <b>16 平和</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
|  | <b>8 経済成長と雇用</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する |                                                 | <b>17 実施手段</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する                                     |
|  | <b>9 インフラ、産業化、イノベーション</b><br>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る    | <b>伊万里市は、SDGsを推進し『未来につながる持続可能都市 伊万里』を目指します。</b> |                                                                                             |



## 令和7年度 予算特集号

- 発行日／令和7年5月1日
- 発行編集／伊万里市情報政策課広報係  
(0955)23-4313 (直通)  
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
- 伊万里市のホームページ  
<https://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社三光



この広報紙は、環境保全のため、FSC® 認証紙を使用しています。